



機殿まちづくり協議会会報

第11号

発行: 2012・4・1

機殿まちづくり

広報編集委員会

松阪市六根町

TEL: 0598-59-0351

・市内のまちづくり協議会の設立状況と 市の考え方について

機殿まちづくり協議会会長 鈴木 正一

東部中管内では、3月18日、西黒部まちづくり協議会が設立されて、機殿・漕代・櫛田・朝見・東黒部と合わせて全6地区が結成されました。

当初、市は24年3月末日までに、全域43地区の結成を目標に取り組みられてきましたが、無理な地区もあるのではないかと懸念されていましたが、3月25日(日)に5地区の設立がなされることで、全域で結成されることになりました。

これに伴い、現在、市議会で24年度予算が審議され、3月末日までには決定されることとなりますが、その主な方向として、平成24年度から26年度までの3年間で体制づくりを行うため、

- ・各地区のまちづくり計画書(地域計画)をつくること
- ・事務局体制確立に向けて、事務局人件費を主目的とする、60万円の交付金を加算する。
- ・23年度まで市が行っていた、掲示板設置補助金制度、防犯灯設置補助金制度をはじめ、6つの制度を廃止して、まちづくり協議会での取り組みを行うよう、交付金の内容を変更してきました。

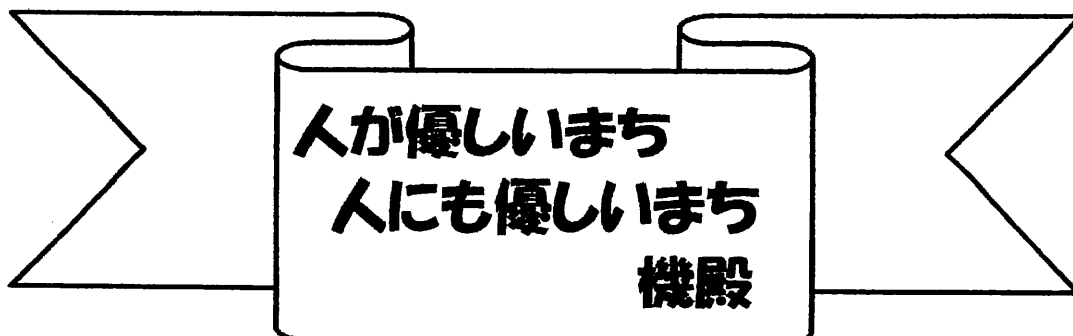
実際には昨年に比べ、約10万円程度の増のみの内定状況が伝えられてきて、その方向にはいろいろ不満な点がありますが、大変厳しいものがあると考えています。

今後、役員会等で、予算編成に向けて協議を進めますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、全地域で結成されたことから、地域で事業的に取り組む場合は、コンペ方式で最高25万円の交付金の増額制度など、まちづくり協議会の体制づくりのきっかけづくりの仕掛けや競争意識などを盛り込まれて、27年度以降にはもっと力をつけたいうえで、地区市民センターや公民館事業などにも、地域力でとり込んでいく等の方向がうたわれています。

特に、東部中管内では既に4年～6年前から多くの地域でまちづくりが進んでいるため、他の地域に比べてもモデル的に取り組まれるよう、期待がかけられています。

ますます皆様のご協力を得て、着実に歩んでいきたいと考えています。



23年健康福祉部会事業報告

健康福祉部会では、生活サポート支援研究が議論されています。孤立死が話題になり地域の一人暮らし方もこの先増加が見込まれます。近所付き合い、見守りたい、あいさつ、声かけなど、地域の方が参加できる行事を行い顔あわせの場を持つことが大切ではないかと思えます。

* 地域の方の集う場「新なごみ会」の活動 むかしながらの日向ぼっこができれば、、、

* 学童保育の研究アンケートを実施し今後の展開の期待が持たれます。

3月3日 ニュースポーツ講習会「ラダ・ゲッター」を機殿市民センターにて大人14名、子ども2名の参加で行われたひも付きボールを段はしごに引っ掛け得点を争い 子どもから高齢者まで三世代が出来る簡単なゲームです。



9月には小雨の中、グラウンドゴルフ大会が櫛田川河川敷公園で開催された

12月には健康お楽しみ会が、多目的ホールにて香川ゆう子歌謡ショー、大正琴、しょんがいくラブの発表、最後にお楽しみ抽選会で盛り上がった。

健康ウォーク事業は日程の都合上、次年度に企画します。

学童保育に関する調査研究報告

健康福祉部会

「保育所が欲しい」との町づくりアンケートの要望を受けての研究でしたが、市の補助金をもらって作る条件は満たせないことが判りました。でも、機殿の子ども達は、安心安全な状態で過せているのか？

子ども達の意見を聴く事にし昨年10月の一週間の生活について、子ども達に協力してもらいアンケートをとりました。町場ほどには核家族化が進んでいないようで、ほとんどの子ども達は大人に見守られながら放課後を過している事が分かり、ホッとしています。また、屋内で過すことが多いようで車からの危険も少ないようでした。でも、中には大人に見届けて貰う事の出来ない子どもがわずか、また、曜日によってもあることが分かった。そういえば、地域で子どもの遊んでいる姿を、余り見かけたことが無い様に思えます。

子ども達は、遊び場や遊具が欲しいと言っています。勉強出来る場所も欲しいと言っています。漫画も含めて読書は、テレビゲームの半分しかありません。屋内での過し方は、大丈夫とばかりも言っていられない状況に感じます。スクールサポート員に付いて貰わないと安心もままならない今を思うと考えさせられます。「子どもは風の子」と外で遊ぶことが当たり前だった時代には戻れませんが、これが健康的なのかな？と心配もしています。地域でのびのび生活させてやれたらと思います。子どもも年寄りも住み易い町づくりを目指して考えてもらいたいと感じたアンケート結果でした。

家に帰ったとき大人の人は居ましたか？

居なかった	2 %
1日居た	3 %
2日居た	2 %
3日居た	5 %
4日居た	11 %
毎日居た	79 %

放課後していたことは？

勉強・宿題	79 %
本読み	20 %
マンガ	15 %
テレビ・ゲーム	73 %
外で	50 %
塾・習い事	67 %
その他	9 %

どこで過したか？

家	88 %
町外友家	24 %
町内友家	18 %
親戚の家	6 %
塾・習い事	70 %
町内(外)	6 %
町外(外)	3 %
その他	5 %

過す場所の希望

遊具・広場	56 %
広場	26 %
遊具	15 %
集会所	5 %
その他	8 %

友達と遊べる場所が欲しい？

欲しい	58 %
いらぬ	21 %
分からない	20 %
その他	2 %

視察研修からのヒント

環境エコ推進部会
部会長 河合 正生



早くから、先進的に色々取組まれている亀岡市の中でも、繁茂が激しい竹材などを炭にして畑に戻したり農地周りの管理状況や、村落周囲や生活の中への、環境とかエコ対策に継がるために、どのような取り組みがなされているのか？部会としても、個人としても大きな興味をもって3月2日農業振興部会主催・環境エコ推進部会共催で、農事法人「ほづ」(京都府亀岡市保津町)へ視察に出かけました。当日は、雨でしたが農事法人「ほづ」の概要を詳しく説明して頂き、人口的にも、環境的にも近く、法人事業に前向きに参加されて、作業を計画的に行ったり特産品作りなど、着実な取り組みを窺うことが出来、環境にも優しい町づくりに機殿地区でも、これからの計画や実践へのヒントを得ることが出来たと感じています。我々環境エコ部会としても、他の部会と協議連携しつつ少しづつでも、前進していけたらと思います。23年度部会として取組んできました「ホテルの住める町へ」ホテルが住まなくなって、永い年月がたっています。ホテルが住める様になるには先の長いことですが、今、カワニナの繁殖に取り組んでいます。その後、ホテルの繁殖が出来ればと考えています。花のある環境づくりの方は、女性部会の皆さんの御尽力でセンター内・外で花を植えていただきました。又、これからの活動として、各村落の公民館前へプランターを置いてもらって季節の花を植えていこうと相談しています。花を育てて、心にも、環境にも、優しい機殿地区の人たちが増えればと思います。

・視察研修、地産地消料理教室

農業振興部会長 横井 富夫

3月2日、25人にて京都の保津町への視察、良かったですネ!!

基本的な考え方、問題点等について参考になったと考えます。是非これを参考にしてまちづくりに生かしてください。

今ひとつ3月6日、料理教室、こちらも良かったですネ!!自主的に参加していただき、かつ機殿の特産のいちご、大豆を生かした料理、本当にありがとう。

料理の先生、参加していただいた方、平成24年度は先頭に立って引っ張ってください。期待します。

いずれにしても、色んな機会に参加して楽しんで欲しいと思います。

さて最後にまちづくり。中途半端な覚悟はやはり中途半端に終わります。

ビジョンを示し突き進んでください。そうでないと、いつまでも同じ場所です。早く脱皮してください。期待しています。

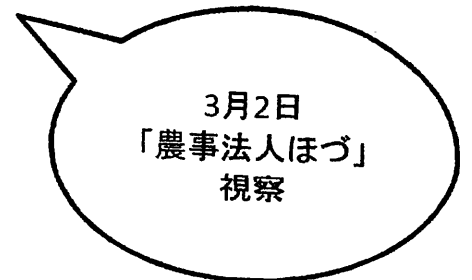


・組織変更・規約改正等検討委員会の検討状況について(24年3月現在)

11月11日五役会、11月29日役員会、12月13日第1回委員会開催以後、機殿独自の取り組みを守りつつ今後、安全・防災などより今日的な課題への対応や、東部中管内などの周辺地域との連携対応などを考え、組織づくりを行いたいと前号で報告いたしました。その後、1月17日第2回、2月8日第3回、2月27日第4回を開催し、主な検討項目が次のようになっています。

1. 近隣のまちづくり協議会の組織の状況把握
2. 役員や部会員の数が多すぎて、小さな町では選出に無理が生じつつあり、もっと整理ができないかという意見対応について
3. 各町の自主防災隊の方々との今後の各町独自の取り組みに加えて、機殿全体の災害対応の訓練等、防災・防犯などへの取り組みが求められているが、すぐに一本化することが無理であれば、現況のままでも加わっていただくなど、いずれにしても大切な要素であること
4. 市役所のこれからのまちづくり協議会への指導、強化、体制づくりなどの方向に沿った対応を見ながら、この組織変更などをいつ頃までに内定し、住民の方々への承認を得て取り組むか

以上の事項に、もう少し整理を進めて対応していきたいと存じますので、よろしくご協力をお願いいたします。



編集後記

地域活動また部会活動等に目を向けて広報誌の行き内容を充実させてたいと委員一同思っておりますのでご協力お願い致します。

編集委員

鈴木 正一

環境・エコ推進部会

副委員長

池田 壽

健康福祉部会

副委員長

西川 幸二

農業振興部会

委員

三宅 隆之

農業振興部会

委員

中谷 啓子

健康福祉部会

委員

関岡 真知子

環境・エコ推進部会

ご意見・ご希望等

有りましたら広報部

までお知らせ下さい。